

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	良くなる	○	○
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・気温低下に伴い、秋物の動きが活発になる。
		コンビニ（経営者）	・秋になり、地域の運動会の予約なども入り始めた。また、観光客が週末等にも来るため、しっかりと取り組んでいけば何とかなる。
		コンビニ（店長）	・9月は、連日の暑さにもかかわらず大変苦戦した。年末商戦に期待している。
		乗用車販売店（販売担当）	・原因はよく分からないが、中古車の販売台数が徐々に伸びてきている。また、中間クラスの輸入車の新車が受注残となっている。注文はあるが即納車の車がないため残ってしまうが、そういう車が出てきているため、この2、3か月はやや良くなっていくようである。夏休みが終わり、観光地で利益が出たホテルや商店街の人が、車を買っていることもある。とにかく今月はかなり良くなっている。3か月受注残高が残っているため、ここ2、3か月は上向きでいく。
		乗用車販売店（統括）	・今後、新型車の投入があるためである。
		自動車備品販売店（経営者）	・エコカー補助金も終わり、車の必要性を感じた時に購入するため、ある程度先が読めるようになってきた。将来的には車の販売なども、ある程度良くなりそうである。
		一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンと、各種イベントの開催で来客数が増える。年末に向かって、集客を図る計画も増えてくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2、3か月先は忘年会、新年会の時期になるため、希望も込めて、今以上に良くなるのではないと思うが、いずれにしても非常に厳しい。尖閣諸島や竹島など、いろいろな問題で客が財布のひもを締めているため、これからどうなるか分からない。毎日が非常に大変な日々であるが、忘新年会で今より少しは売上が伸びる。
		都市型ホテル（営業担当）	・根本的な景気の回復によるものかどうかということはまだ別の問題であるが、例年、年末に向けては稼働が良くなっていくため、期待している。
		旅行代理店（所長）	・自治体の福島第一原子力発電所の事故による風評被害対策として、今年度も一定の予算を配分してもらい、秋冬のイベントの告知、キャンペーンの効果に期待したい。
		住宅販売会社（経営者）	・税率アップ後が心配であるが、消費税増税の特需が増加しそうである。
	変わらない	商店街（代表者）	・このままの環境では変わることはなく、不況が続く。新しい景気対策が欲しい。
		商店街（代表者）	・秋らしい季節に早くなって欲しいと年配の人が話している。残暑の厳しい日が続くと商店街に人が来ない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・10月から原材料の品不足で、物が値上がりしてくるが、買い占めの様子はなく、買い控えの状態である。食欲の秋になるが、夏の暑さの影響はまだまだ続くため、食品を扱う商店はつらい。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・徐々に商品の値上がりも見え隠れするなか、消費者への消費税増税がどう影響してくるのかが微妙である。寒波予想でも出てくると、季節商材に多少の期待が持てる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・以前にも増してイベント等、商戦を一生懸命やることによって、何とか販売等も維持していけそうである。
		百貨店（営業担当）	・消費マインドは相変わらず低調で、3か月後は変わらないか、若干落ちそうである。
		百貨店（販売促進担当）	・相変わらず不要不急な物以外は動きが鈍く、気温の高さもあり秋物衣料が特に不振である。今後の気温の推移が気になるところだが、堅実消費の流れは早急には変わらない。
	百貨店（販売促進担当）	・好転する要因は見当たらない。不要不急品の購入を見送る傾向は継続する。	
	百貨店（店長）	・消費税増税や年金改正などの将来不安に加えて、経済や外交の動きも大きく不安材料として、消費者心理に影響を与えている。	
	百貨店（販売担当）	・先行き不安な事案が多いため、なかなか良くならない。	
	スーパー（店長）	・3か月先は年末商戦になるが、近隣を見る限り、業績の良い企業は見当たらない。1次産業も価格安で良い話は聞かない。良いとはいえない今の状況がしばらく続きそうである。	
	スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は数か月間変化がない。	
	スーパー（統括）	・日替わりの目玉商品や朝市、夕市などの価格を意識したセールに消費者の目が向いており、生活防衛型の消費に大きくシフトしていく。	
	コンビニ（経営者）	・2、3か月先、特別に行事があるわけではないためである。	

コンビニ（経営者）	・これから年末のクリスマス商戦等が始まるが、夏のピークからすると、売上、来客共に若干少ない感じで推移する。
コンビニ（店長）	・ここにきて出店関係の噂はなくなってきているため、あまり変化はない。同業他社関係も落ち着いているため、今の状況からは大きく変わっていくことはない。
衣料品専門店（統括）	・景気はなかなか上向きにならないのが現実である。しかし、ここ2、3か月は各地でお祭り、各種イベントがあり、若い人たち、また地域の消費は多少多くなってきている。先日までの暑さで一般商品の動きは非常に鈍く、また、商店街の来街者はあまり多くなかった。
衣料品専門店（販売担当）	・3か月前からずっと変わらない悪さである。トータルの売上は金額的には変わらないが、客数が増えた感じがある。ただ、やはり客単価が低いので、トータルでは売上が変わらない。何か自分を抑えながら買物を続けているようで、この状況は今後も変わらない。無理をしてクレジットカードで買っても先行き不安が残るので使わない、というような状況も変わらない。
家電量販店（店長）	・テレビ関係の回復、あるいは好調な商品群が構成比を増やせるかが鍵となる。好調な商材として、白物家電、調理家電、理容美容の関連商材、スマートフォンなどに期待している。
家電量販店（営業担当）	・地上デジタル放送での回復ができない状況が続いている。また、産業用の太陽光の動きは多いが、投資できる企業は少ない。申請しても大手電力会社の動きが悪い状況である。
乗用車販売店（経営者）	・2～3か月は反動減が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金も一段落し、話題はまた中古車商談に移りつつあるが、収益はあまり見込めない。
乗用車販売店（管理担当）	・ユーザーの台替えがほぼ終わっている状況である。受注はさほど伸びない。
住関連専門店（統括）	・中国、韓国等の領土問題に端を発し、経済環境の悪化が考えられる。また、中国からの商品入荷の遅れが予想され、売上に影響が出ると考えられる。
住関連専門店（仕入担当）	・石油関連商材、ペットフードの仕入価格は、今後高騰傾向にあるが、市場価格は据え置き、もしくは下落気味と現状よりも厳しい運営が容易に予測される。
一般レストラン（経営者）	・円高、デフレ、この状態はまだまだ続くと思うため、良くもなく悪くもなく、変わらない。
スナック（経営者）	・これ以上落ちようがないと思うが、全く分からない。不景気なニュースが続くと本当に落ち込んでいくため、中国関係など結構心配である。
スナック（経営者）	・変わらないを選択したが、これ以上悪くなって欲しくないという変わらないである。良くなる要素はほとんどないため、今後非常に心配している。
観光型ホテル（営業担当）	・県内でも特に近隣観光地への入込客数は、前年と比較して減少傾向であり、そのようななかで売上確保には相当な努力を強いられそうである。
旅行代理店（副支店長）	・中国、韓国との政治問題や国内の情勢を踏まえたうえで、観光産業としては、先行きが読めず厳しい。
旅行代理店（営業担当）	・尖閣諸島や竹島の領土問題で、中国や韓国への渡航客のキャンセルがマイナス要因となっている。日本を取り巻く国際情勢が緊迫しているため、海外旅行の売行きも今一つ伸びない。
通信会社（局長）	・中国との関係が、今後の経済にどのように影響するのか、不安材料として影を落としている。
通信会社（総務担当）	・消費税増税など景気の先行きが不透明なため、個人消費も低迷している。
テーマパーク（職員）	・猛暑であった反動が、冬季にあるのではないかと心配している。
ゴルフ場（支配人）	・秋のゴルフシーズンに入るが、手放しでの集客は過去の話である。プレー料金を下げ続け、会員権価格も下がり、続くのはデフレだけだろうか。
ゴルフ場（業務担当）	・今月については、入場者、売上共に上回ったが、単価は目標数字を下回り、単価維持に苦労した月である。土日の雨によるキャンセル等でマイナス分もあり、プラスアルファの売店等の売上が伸びなかったため、総体の売上に結び付かなかった。向こう3か月については、結構引き合いがあるため、前年並みの入場者、売上を確保できればいい。しかし、客のほとんどが安いプランを選択する。

美容室（経営者）	・残暑が厳しく客の動きが少ないため、これから秋に向かって旅行、お祭り、イベント等が多くなってくるが、来客数が良くなってくるのには時間がかかりそうである。
その他サービス〔清掃〕（所長）	・必要な物以外の購入は控える傾向は変わらず、景気が変わる要素は見られない。
設計事務所（所長）	・小規模ながら物件の依頼がありそうな気配があり、併せて共同受注した物件が本決まりになり、多少は良い方向に向かいそうである。しかし、これは一時的な現象のような気がする。周りの雰囲気は決して良いとはいえず、今より良くなるという結論は出せない。
設計事務所（所長）	・上期は無事目標を達成したとしても貯金がないため、下期スタートが順調とは言いにくい。イベントなどを実施し集客、受注に結び付けたい。
住宅販売会社（従業員）	・豪雨災害のダメージは短期間には払拭できない。
住宅販売会社（経営者）	・来店数、問い合わせ数などが、前月と変わらない。
住宅販売会社（経営者）	・予測等については分からないが、依然として不動産価格の下落が続いている以上、このデフレを止めないことには不動産関係は良くならない。
住宅販売会社（従業員）	・住宅購入支援策が続いている間は、このまま推移するようにも感じられる。しかし、円高、中国との関係悪化、世界景気の停滞等、不安要素も根強く残っている。特に当地域は、自動車メーカーの影響が大きいので国の賢明な対応をお願いしたい。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・行楽の秋から贈答の年末に期待をしたいが、このところ続いている客単価の下落が心配である。
百貨店（店長）	・欧州、中国経済失速に対する懸念、また領土問題の影響などネガティブな材料に事欠かず、良い話題が全くない。
スーパー（総務担当）	・エコカー補助金も終わり、消費税増税、中国との摩擦、円高、株安と景気回復の材料がない。
衣料品専門店（店長）	・高額品が比較的売れる冬物の実売期であるが、商品価格の低下傾向が強く、利益の取れない商売が続くそうである。
乗用車販売店（従業員）	・今月エコカー補助金が終了し、今までの好調の反動が今後発生するのではないかと危惧している。
一般レストラン（経営者）	・これからの時期に、行政による山菜の放射能汚染による自粛指導が出ており、客への影響が心配である。
一般レストラン（経営者）	・解散総選挙後、どこが政権をとっても国民は全く信用しないだろう。国民ありきの政治をして欲しい。
観光型旅館（経営者）	・良くなる材料が見当たらない。
都市型ホテル（支配人）	・福島第一原子力発電所の事故による風評被害が依然と続いており、当地域の空港の国際線の一部がストップしたままである。また、他の国際線利用者の減少等で2～3か月先、団体を含めて外国人の予約が入ってきていない。
旅行代理店（経営者）	・政局がまだ安定していない。また、中国、韓国との関係も良くないため、今年は見通しが立たない。
旅行代理店（従業員）	・中国や韓国との領土問題が長期化しそうなためである。
旅行代理店（副支店長）	・領土問題が長引けば長引くほど、安近短の海外旅行への影響が出てくる。受注も海外旅行の旅行地の変更ではなく、取り止めになるケースが多く、売上等に響きそうである。国内旅行はほぼ平年並みの受注を受けている。
タクシー（経営者）	・景気が悪いため、この先も悪い。
通信会社（経営者）	・下半期に入っても、流れは変わらない。この半期で弱小零細企業は淘汰されてしまうのだろうか。リーマンショック、東日本大震災、政治の空転、地方の状況は悪くなるばかりである。
通信会社（販売担当）	・冬商戦が始まるまで、市場が冷え込む時期である。また、中国問題で長期化するようなら、景気にも影響が出るのではないかと懸念している。
ゴルフ場（副支配人）	・3か月先の予約状況は、前年度よりも更に悪い。来年1月中旬で当クラブはクローズになってしまう。今の来客状況並びに景気は、やや低迷気味である。
競輪場（職員）	・オールスター競輪が行われたが、期待したほど売上が伸びていない。今後も厳しい状況が続く。
その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・この3か月ぐらい同じような傾向が続いており、客数、単価、売上金額自体も減少の傾向にある。この傾向が変わるようなポイントが見つけにくいので、このまま進んでいくのではないかと懸念している。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・月ぎめ契約の解約台数が、前月、前々月と比べ約6%増えている。また、来客数も減っていることから、売上も伸び悩んでいる。各テナント、ホテル、映画館等についても入場者数が減り、売上が減少しているため、やや悪くなる。

		設計事務所（経営者）	・中国や韓国の領土問題の影響は、これから様々なところで出てきそうである。
悪くなる		設計事務所（所長）	・ここ数か月、非常に情報が少なく、好転する材料もない。
		商店街（代表者）	・冬物は扱わないため、この時期になると販売する物がなくなり、良くない。悪くなっていくばかりである。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる兆候がまったく見えず、底打ち感もない。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・地元の運動会関係の売上も悪いが、観光客の状態もあまり良い話は聞かない。全く人が来なくて悪い状況がずっと続いている。そのような状況のため、良くなる要因は見当たらない。
		スーパー（経営者）	・依然として購買意欲が弱い。
		コンビニ（経営者）	・当店から1キロ以内に、6店ほど新店がオープンした。また、天候が非常に不安定であり、今後、売上は多く望めないため悪くなる。
		衣料品専門店（経営者） 通信会社（経営者）	・全て悪くなる方向に物事が動いているような感じがする。 ・消費税増税までまだ1年半あるが、今と同じような経済状況で増税に踏み切ると、増税後は多くの中小零細企業が破綻するだろう。円高は止められず、化石燃料は高値でしか買えない。この先、日本はどうなるのか心配である。
企業動向関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・環境装置の他に、年明け3月までに大手電力会社との契約に間に合うよう、太陽光発電の申請をする計画を立てて進めている。600kwの発電のため、併せて成功見本となり地域への経済効果の呼び水にもなればと願っている。
(北関東)	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・季節的要因で、多少良くなるのではないかと期待している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・試作品関係の注文が少しずつ出てきている。
	広告代理店（営業担当）	・年末商戦へ向けては、チラシなどの広告宣伝の引き合いが増えてきている。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・最近のWebの販売動向も悪く、今後も予想が立たない。	
		金属製品製造業（経営者）	・受注量は多くならないが、仕事は安定してきている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先は5社あるが、3社が好調で2社が低調である。特に自動車関連で、全く仕事がなくなってきた。理由は分からないが、一般的に車が売れなくなったようである。年末に向けて住宅関連の仕事が増える見込みだが、トータルすると変わらない気がする。また、中国関連のことがあるため、先行きが全く見えない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・客先の新機種動向が不透明である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・全体的に製造加工業は比較的安定している状態が続くが、当社は仕事確保のための営業が忙しい。	
	輸送業（営業担当）	・今後、大きく景気が上向くような材料はないが、涼しくなるにつれて、例年並みに冬物商材が動き、家電、衣類や雑貨等の物量は確保しそうである。そのなかでインターネット通販、ホームセンター向けの物量が伸びているが、運送コストである燃料価格の高騰により、利幅は厳しい状態が続いている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・前月に続き、景気は後ろ向きであると話す店主が多い。また、政情不安から旅行会社では、中国、韓国への海外旅行のキャンセルが目立ち、新たな申込も減っている。今回は長引きそうだと話している。	
	社会保険労務士	・円高が是正され、賞与もそこそこ出れば良いが、あまり期待できそうにない。	
	経営コンサルタント	・秋物などの季節需要が、どれだけ盛り上がるかにかかっている。	
やや悪くなる	化学工業（経営者）	・中国とのトラブルによって製品の出荷が止まり、操業に支障が出てきている企業や、半導体不況の影響で操業ダウンなどの話もあり、近隣地域への出荷がじわじわと悪くなってきている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・中国の問題があるため、先行きが不安である。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後は今月よりやや悪くなる。それが長期に続いているため、採算が悪化しており、赤字すれすれのところまできている。これ以上受注量の減少が続けば、思い切った対策を取らざるを得ない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・12月までは何とか受注量を確保しているが、物件が少なく、1月以降はかなり厳しい状況になりそうである。	

		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先と競争相手の様子等は、非常に仕事があるという会社は少なく、あまりない、忙しくないという状況になってきたような気がするため、変わらないかやや悪くなる。
		金融業（経営企画担当）	・尖閣諸島、竹島の領土問題による中国、韓国との摩擦発生により、観光業の宿泊施設においては、既に中国旅行客のキャンセルが発生している。製造業においてもその影響が懸念される状況である。
		金融業（役員）	・中国問題が非常に長く尾を引くと思う。また、円高も企業の足かせになっている。
		金融業（調査担当）	・国内の政策効果の一巡に加え、近隣諸国など海外需要の鈍化が予想される。
		不動産業（経営者）	・円高継続、消費税増税、年金負担増の話が挨拶代わりになっている。周囲では個人事業が継続できない人も見られる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、受注量から推測すると、情報化投資が抑制され、量的にも伸びが見られない。客が先行きに不透明感を感じ、様子見の状態が続いている。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・尖閣の影響で、中国の農作物がどうい影響が出てくるのか、不安要素が多すぎて、先行きが本当に予測できない。いまだにシカゴ相場では高値で推移している。併せて原料が高騰している状態にあるため、利益を出していくのは大変厳しくなっている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらずの利益低下と仕事量の減少が続く。
		一般機械器具製造業（経営者）	・パワーショベル向けの仕事に関して、更に大幅な減産が避けられず、社内においても暇な部署と比較的忙しい部署が明確に分かれている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力大手自動車メーカーからのコスト要請が、非常にきつい状況にある。関西系大手自動車メーカーの海外移転により、関西系企業との競争が激しくなっている。そのなかで、コストダウンと共に受注量が月を追うごとに減少しており、非常に収益的にも厳しくなっている。12月あたりは厳しくなりそうである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・東日本大震災後、前年の秋口は上昇に転じていたが、今年は7月頃から低迷が続いており、前年比ダウンが続いている。
		建設業（総務担当）	・当社は公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。東日本大震災の影響と現政権の執行が遅いため、県、市町村との発注が遅れている。受注が厳しいなか、現在は下請工事も行っている。利益確保が難しい状況にもなっている。
		通信業（経営者）	・日韓、日中関係の悪化により経済状況はもっと悪くなりそうである。政府開発援助や国連分担金を見直して予算を作り、早急に憲法を改正して、戦闘機や空母を国内生産できるようにしたら、内需拡大になるだろう。
		不動産業（管理担当）	・年内の予定についても未定になったり、価格引き下げの話がきており、今後更に厳しくなっていくそうである。
雇用関連 (北関東)	良くなる やや良くなる	—	—
		人材派遣会社（経営者）	・依然として電子関連については、底冷えか、少し上向きかという少し期待を持っている状態である。動きはまだはっきり分からないが、住宅関連は、非常に活発さを見せてきている。小売、販売も年末に向けての募集要件や、製品関係の切替えが見込まれており、少し伸びてくるようである。
		人材派遣会社（管理担当）	・住宅設備関連の派遣取引が確定したためである。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・10社ぐらいの会社と付き合いがあるが、今のところ景気の良い会社はほとんどない。
		人材派遣会社（社員）	・周辺企業や同業他社と話をしても、良くなる材料、悪くなる材料は特にはない。個別の宿泊先の客については、良いところと悪いところがあるため、全体的な評価はなかなか難しいが、それほど大きな変化はない。
		人材派遣会社（営業担当）	・円高のためである。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・今の景気低迷の状態がしばらく続くため、求人募集に対しても厳しい。

	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月の新規求人数は前年比20.5%の増加となっている。特に多いのが情報通信業、運輸、郵便業、卸小売業だが、窓口及び企業訪問時に確認すると、新規店舗のオープンや事業拡大等は非常に少なく、景気が良いので採ると感じが少ない。卸小売業は退職者の欠員補充が多く、情報通信業では選考基準の高い即戦力の募集が多い。製造業ではスポット的な求人が多く、建設業関連でも東日本大震災に伴う復旧工事は堅調であるが、あくまで一過性のものであり、依然厳しい価格競争も続いていることから、今後も変わらない。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規求人数は前年比23.6%増となっているが、建設業の復興関連の臨時的な割合が多く、求職者の希望する製造等が極端に少ないため、就職に結び付きにくくなっている。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者数の減少は継続しているが、求人申込に鈍化傾向が現れてきており、雇用環境は厳しさが増してくる恐れがある。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国、韓国との領土問題のためである。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内大手企業の希望退職者を募るリストラは、予定どおり進んでいる。退職予定者がすべて当安定所で求職するわけではないが、相当数の求職者が今後、手続きするようである。
悪くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治不信や経済の不安定で、市内の車関連の企業はかなりダメージを受けている。その反動が、周辺の飲食店をはじめ小売店にも影響が出始めている。